

法学部／（昼間コース）カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
法学部	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	課題の解決に進んで挑む実践力 現代社会に生起する諸事象における法学および政治学に関連する課題に対し、自ら判断し解決しようとする姿勢と解決のための基礎的な能力を備えている。	多角的な視点から科学的に分析し、課題を見出す探究力 グローバル化が進む現代社会の諸問題について、歴史のおよび国際的な視野から多角的に捉え、法学および政治学等の知識を活用して科学的に分析、判断し、取り組むべき具体的な課題を明らかにすることができる。	多様性を認めながら他者と協働するためのコミュニケーション力 多様性や包摂性といった共生・共創のための国際感覚とともに、グローバル化および情報化する社会で多様な人々と協働して活躍できるコミュニケーション能力を身につけ、自らの意見を論理的に展開し、的確に行動することができる。	具体的な問題解決策を提示できる法的思考能力 法や政治等に関する実践的課題に対応できる法的思考能力（リーガル・マインド）を身につけ、具体的な問題に解決策を提示することができる。	柔軟かつ適正な判断を支える幅広い教養力 グローバル化が進む現代社会に対する深い理解とともに、様々な社会集団、社会活動に起因する諸問題に対して、柔軟かつ適正な判断をするために幅広い教養を身につけている。

科目区分		年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
						実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	専門基礎科目	1	法政基礎演習	必修	1		○	◎	○	
	専門科目	1	憲法入門	必修	1		○		◎	○
	専門科目	1	憲法（総論・統治）a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	2	憲法（人権）a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	2	憲法（人権）c	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	2	行政法総論Ⅰ	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	2	行政法総論Ⅱ a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	3	行政救済法Ⅰ a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	3	行政救済法Ⅱ	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	労働法 a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	3	労働法 c	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	経済法 a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	3	経済法 c	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	社会保障法 a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	3	社会保障法 c d	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	3	税法 a	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	税法 b c	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	1	生活民法	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	1	民法総則 a b	選択必修	2		○		◎	

科目区分		年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
						実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
専門教育科目	専門科目	2	物権法	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	2	担保物権法	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	2	債権総論 a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	3	契約法	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	不法行為法	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	2	親族法	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	2	相続法	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	3	不動産登記法 a	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	不動産登記法 b	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	1	民事手続法概論	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	3	民事訴訟法 a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	2	会社法 a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	2	会社法 c	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	3	企業取引法 a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	3	企業取引法 c	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	1	刑法入門	選択必修	1		○		◎	○
	専門科目	2	刑法総論 a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	3	刑法各論 a	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	刑法各論 b c	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	1	刑事手続法概論	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	3	刑事訴訟法 a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	1	法実務入門	選択必修	1		○		◎	○
	専門科目	1	国際法入門	選択必修	1		○		◎	○
	専門科目	2	国際法総論 a c	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	2	国際法総論 b	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	3	国際法各論 a	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	3	国際法各論 b c	選択必修	2		○		◎	

科目区分		年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
						実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	専門科目	3	国連法・国際機構法	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	3	アジア法 a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	3	中国法	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	1	法の歴史と思想	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	3	法と正義 a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	3	法哲学	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	3	法史学 a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	1	法社会学概論 a	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	1	法社会学概論 b	選択必修	1		○		◎	
	専門科目	3	法社会学	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	1	現代政治入門	選択必修	1		○		◎	○
	専門科目	2	政治学 a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	1	国際政治入門	選択必修	1		○		◎	○
	専門科目	3	国際政治論 a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	2	政治思想史 a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	2	政治哲学	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	比較政治 a b	選択必修	2		○		◎	
	専門科目	3	政治過程論 I	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	政治過程論 II	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	行政学 a b	選択必修	2	○			◎	
	専門科目	3	外国書講読	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	1	就業体験実習 I	選択必修	1	◎		○		
	専門科目	3	就業体験実習 II	選択必修	2	◎		○		
	専門科目	3	海商法	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	1	法解釈の基礎	選択必修	1	○			◎	
	専門科目	3	リーガルライティング演習	選択必修	1	◎		○	○	
	専門科目	2	法実務	選択必修	1	◎	○		○	

科目区分		年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
						実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	専門科目	2	憲法Ⅰ（法曹）	選択必修	2	◎			○	
	専門科目	2	憲法Ⅱ（法曹）	選択必修	2	◎			○	
	専門科目	3	行政法（法曹）	選択必修	2	◎			○	
	専門科目	2	民法Ⅰ（法曹）	選択必修	4	◎			○	
	専門科目	2	民法Ⅱ（法曹）	選択必修	4	◎			○	
	専門科目	3	民法Ⅲ（法曹）	選択必修	4	◎			○	
	専門科目	3	商法（法曹）	選択必修	4	◎			○	
	専門科目	3	民事訴訟法（法曹）	選択必修	4	◎			○	
	専門科目	3	刑法（法曹）	選択必修	4	◎			○	
	専門科目	3	刑事訴訟法（法曹）	選択必修	4	◎			○	
	専門科目	2	演習Ⅰ	選択必修	2			◎	○	
	専門科目	3	演習Ⅱ	必修	4			◎	○	
	専門科目	4	演習Ⅲ	必修	4			◎	○	
	専門科目	3	課題研究	選択必修	4		◎		○	
	専門科目	3	課題英語Ⅰ	必修	1				◎	
	専門科目	4	課題英語Ⅱ	必修	1				◎	

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

法学部／（夜間主コース）カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
法学部	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	課題の解決に進んで挑む実践力 現代社会に生起する諸事象における法学および政治学に関連する課題に対し、自ら判断し解決しようとする姿勢と解決のための基礎的な能力を備えている。	多角的な視点から科学的に分析し、課題を見出す探究力 グローバル化が進む現代社会の諸問題について、歴史的および国際的な視野から多角的に捉え、法学および政治学等の知識を活用して科学的に分析、判断し、取り組むべき具体的な課題を明らかにすることができる。	多様性を認めながら他者と協働するためのコミュニケーション力 多様性や包摂性といった共生・共創のための国際感覚とともに、グローバル化および情報化する社会で多様な人々と協働して活躍できるコミュニケーション能力を身につけ、自らの意見を論理的に展開し、的確に行動することができる。	具体的な問題解決策を提示できる法的思考能力 法や政治等に関する実践的課題に対応できる法的思考能力（リーガル・マインド）を身につけ、具体的な問題に解決策を提示することができる。	柔軟かつ適正な判断を支える幅広い教養力 グローバル化が進む現代社会に対する深い理解とともに、様々な社会集団、社会活動に起因する諸問題に対して、柔軟かつ適正な判断をするために幅広い教養を身につけている。

科目区分		年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
						実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	専門基礎科目	Ⅰ	憲法Ⅰ	選択必修	2	○	○		◎	
		Ⅰ	現代社会と政治	選択必修	2	○	○		◎	
		2	憲法Ⅱ	選択必修	2		○		◎	○
		2	行政法入門	選択必修	2		○		◎	○
		3	行政訴訟法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	国家補償法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	税法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	租税法	選択必修	2	○	○		◎	
		Ⅰ	民法総則・物権総論	選択必修	2	○	○		◎	
		2	債権総論・担保物権法	選択必修	2		○		◎	○
		2	債権各論	選択必修	2		○		◎	○
		3	親族法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	相続法	選択必修	2	○	○		◎	
		2	民事訴訟法	選択必修	2		○		◎	
		3	企業法総論	選択必修	2	○	○		◎	
		3	企業組織法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	企業金融法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	企業取引法	選択必修	2	○	○		◎	
		2	刑法総論	選択必修	2		○		◎	○

科目区分		年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
						実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
専門教育科目	専門科目	3	刑法各論Ⅰ	選択必修	2	○	○		◎	
		3	刑法各論Ⅱ	選択必修	2	○	○		◎	
		3	刑事訴訟法（捜査・公訴）	選択必修	2	○	○		◎	
		3	刑事訴訟法（公判・証拠）	選択必修	2	○	○		◎	
		3	労働法Ⅰ	選択必修	2	○	○		◎	
		3	労働法Ⅱ	選択必修	2	○	○		◎	
		2	国際法総論	選択必修	2		○		◎	○
		3	国際法各論Ⅰ	選択必修	2	○	○		◎	
		3	国際法各論Ⅱ	選択必修	2	○	○		◎	
		3	国連法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	国際機構法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	法と正義	選択必修	2	○	○		◎	
		3	法哲学	選択必修	2	○	○		◎	
		3	法史学Ⅰ	選択必修	2	○	○		◎	
		3	法史学Ⅱ	選択必修	2	○	○		◎	
		3	法社会学概論	選択必修	2	○	○		◎	
		3	法と社会科学	選択必修	2	○	○		◎	
		3	アジア法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	中国法	選択必修	2	○	○		◎	
		3	行政学Ⅰ	選択必修	2	○	○		◎	
		3	行政学Ⅱ	選択必修	2	○	○		◎	
		2	政治学	選択必修	2		○		◎	○
		3	政治過程論	選択必修	2	○	○		◎	
		2	国際政治論	選択必修	2		○		◎	○
		3	政治思想史総論	選択必修	2	○	○		◎	
		3	政治思想史各論	選択必修	2	○	○		◎	
		3	比較政治	選択必修	2	○	○		◎	

科目区分		年次	授業科目名	必修・選択	単位数	修得できる力				
						実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
		3	演習	選択必修	2	○		◎	○	
		4	演習	選択必修	2	○		◎	○	
		I	就業体験実習 I	選択必修	1	○	○	◎	○	
		3	就業体験実習 II	選択必修	2	○		◎	○	

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する